



令和6年度文部科学省

「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」における
多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルを構築するための実証事業

ウィミンズカレッジ(KNFSM)連携 マネジメント入門コース

成果報告書

ウィミンズカレッジ(KNFSM)連携
(京都女子大学・日本女子大学・福岡女子大学・
栃山女学園大学・宮城学院女子大学)

成果報告会目次

1. 事業の目的と概要	2
2. スケジュール/実施概要	3
3. 志願/修了状況.....	5
4. 受講生の属性	5
5. プログラム全体への満足度.....	8
6. 職場見学会（選択科目）	10
7. 成果報告会・修了式.....	11
8. 受講生へのフォローアップ	14
9. 受講生ネットワーク構築	16
10. 体制図	20
11. プログラム企画委員会	20
12. 評価部会の評価.....	21
13. 講座一覧	23
14. 時間割	24
15. シラバス	25
16. 京都女子大学リカレントシンポジウム	36
17. 主な広告媒体	38

1.事業の目的と概要

■目的

組織で必要とされるマネジメントの基本的な知識とジェンダー平等の視点、キャリアマネジメントへの気づきを得ることで、社会参画のマインドとキャリアに関する自己効力感を高め、マネジメント職やキャリアアップへの挑戦意欲を高めることを目的とする。

■ターゲット

企業や団体等でリーダーあるいは管理職等のキャリアアップを目指す女性（ポテンシャル層含む）。

■概要

今年度は東北・中部地方まで地域を拡大し、京都女子大学、日本女子大学、福岡女子大学、栄山女学園大学、宮城学院女子大学の5つの女子大学で連携した。

それぞれの大学に女性リーダー育成の伝統があることから、多様な指導的立場の女性を総合的に支援するマネジメント力養成の視点より各大学の特徴的な講座を提供し、構築した

また、受講生同士のネットワーク化とキャリア開発への意欲を高めることを目的として、ロールモデルセミナーも取り入れた。加えて、昨年度、ジェンダーバイアスへの気づきを喚起させ、受講生に好評だった女性教育関係団体等のセミナーも組みこんだ。昨年度の受講生の意見を参考にし、受講生や講師との相互作用による効果にも着目したプログラムを編成した。

提供機関	領域	科目名	時間
合同	その他	入校式・オリエンテーション	2.5
京都女子大学	「キャリア」のマネジメント	ライフキャリアデザイン(キャリアについて)	3
	「人」のマネジメント	人的資源管理	7.5
	「組織」のマネジメント	組織マネジメント	9
	リーダーシップとネットワーク	ロールモデルセミナー第1回：地域女性リーダー	3
		ロールモデルセミナー第2回：企業女性リーダー	
日本女子大学	「時間」のマネジメント	タイムマネジメント講座(東京商工会議所連携講座)	5.5
福岡女子大学	戦略的思考とリーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ	4.5
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ	4.5
栄山女学園大学	ファイナンス	ファイナンス入門	4.5
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシー	7.5
京都女子大学 宮城学院女子大学 女性教育機関	ジェンダー平等と男女共同参画社会	ジェンダーダイバーシティ入門 第1回 京都女子大学 学長提供講座 テーマ：女性のためのリカレント教育課程の意義	6
		ジェンダーダイバーシティ入門 第2回 国立女性教育会館提供セミナー テーマ：ジェンダー視点と女性のエンパワーメント	
		ジェンダーダイバーシティ入門 第3回 宮城学院女子大学提供講座 テーマ：地域女性とリーダーシップ	
		ジェンダーダイバーシティ入門 第4回（公財）市川房枝記念会女性と政治センター提供セミナー テーマ：女性と政治参加	
京都女子大学	シンポジウム	京都女子大学リカレントシンポジウム	3
合同	職場見学（選択科目）	NTT西日本（大阪）・就労支援施設（東京/福岡）	5
合同	その他	成果報告会演習	1
		成果報告会・修了式	4
総時間数			70.5

2.スケジュール/実施概要(2024年5月～2025年3月)

5月～ 講座企画	7月～8月 募集活動	9月 講座企画
<p>連携機関と協働</p> <p>女性のためのリカレント 教育に実績のある5大学 が協働したプログラムを 開設。 (京都女子大学、日本女 子大学、福岡女子大学、 栃山女学院園大学、宮城 学院女子大学)</p> <p>+</p> <p>連携する団体や企業へプ ログラム提供を依頼。</p> <p><女性教育関連団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)市川房枝記念会 女性と政治センター ・(独)国立女性教育会館 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本電信電話(株) ・オムロンエキスパート リンク(株) <p>大学・団体・企業 との連携</p>	<p>広報・希望者への相談会実施</p> <p>ホームページ開設 ホームページにてプログラム内容を詳細 に公開し、応募につなげた。</p> <p>リーフレットの作成 リカレントをPRするリーフレットを制 作。連携先企業中心に配布し、ホームページ への誘導をはかった。</p> <p>その他、卒業生DM、育英会メールマガ ジンなど活用。</p> <p>本学客員教授 池上彰 氏を起用し た説明会実施</p> <p>説明会では、修了生とのパネルディスカ ッションを実施。リカレント受講後の変 化やリカレントの魅力を伝えた。</p> <p>個別相談会（リモート）の実施 ホームページへ個別相談会受付フォーム を設置。個別の相談に一対一で対応し た。</p> <p>京都女子大学及び滋賀会場で 対面説明会を実施 リモートに加えて、会場で対面での説明 会も実施した。</p> <p>リカレントの詳細を告知 受講希望者へフォローアップ</p>	<p>選考</p> <p>面接の実施 学ぶ意欲、受講目的と講座の合 致などを基準に、応募者全員に 面接（リモート）を実施。選考 基準を定め、学内に選考委員会 を設置し、公平な選考につとめ た。</p> <p>開講前コミュニケーション</p> <p>ホームページに受講生特設 ページを設置 気軽に質問できるフォームを鍵 付きで設け、コーディネーター が対応。受講生の受講前の疑問 へ応えた。</p> <p>オリエンテーション実施 動画を制作し、学習システムや スケジュール、学習を進めるに あたっての注意点などについ て、受講前に受講生専用ページ で公開した。</p> <p>オンライン中心の学習となるた め、受講前から使い方への疑問 点や不安の解消につとめた。</p> <p>受講前フォロー</p>

10月～2月

開講期間

2月～3月

講座終了後

オンライン講座での工夫

リアルタイムオンライン授業(Zoom)

グループディスカッション(ブレイクアウトルーム)ワークなどを取り入れた座学だけでの授業で、講師・受講生同士のコミュニケーションを重視。

ハイブリッド形式での授業実施

授業の6回を対面・リモートどちらでも受講できるハイブリッド授業とした。講師と直接話せる対面授業を望む声は多く、関西在住の受講生を中心に、大学で授業を受けた。教室をwebカメラで繋ぎ、ライブ感を持たせた。

授業後のアンケート実施

出席確認と共に、授業後には理解度を計るためのアンケートを実施して、講師と共有した。結果を受講生への迅速なフォローに役立てた。

フォローアップ

専従のコーディネーターが常駐

キャリアコンサルタント有資格者で経験豊かなコーディネーターが受講生対応にあたり、孤独になりやすいオンデマンド学習での不安を取り除けるように、図った。

授業後のフォロー

各リモート講座後、質問時間を設けて、コーディネーターとティーチングアシスタントが対応した。
(メールでの質問にも随時対応)

キャリアカウンセリング

今までのキャリアの振り返りや今後のキャリアビジョンを明確にすることを目的に、外部のキャリアコンサルタントによる面談（2回）を希望者に実施した。

受講生同士のコミュニケーション促進・

受講生へのきめ細かなフォロー

ハイブリッド形式で成果報告会を実施

「私にとってのマネジメントとは？」をテーマに開催

学びを振り返り、今後、学びをどう活かしていくかをパワーポイントにまとめ、一人ずつプレゼンテーションを行った。

成果報告会での発表が自信を持ってできるようコーディネーターとティーチングアシスタントで、オリエンテーションや個別相談を実施。27名中25名が大学で参加する盛会となった。



今後のネットワーク構築を支援

コーディネーターの呼びかけで懇親会を開催。（対面1回、リモート2回）懇親会で、2020年度修了生が自主運営してきた分科会へ関心を寄せ、今後、同様の繋がりを求める受講生が多くみられた。

修了生分科会メンバーへ伝え、3月8日（土）13時半～15時半 修了生代表との交流会（ハイブリッド）が実現した。

これまでの分科会についての説明を受け、今後は、共同で京都女子大学リカレント教育課程 修了生分科会として、希望者はメンバーとなり、ネットワークを継続すること、互いの学びを継続していくことが決定した。

修了後のネットワーク構築

3.志願/修了状況

定員	志願者数	合格者数	定員充足率	修了者数
25名	39名	28名	139.2%	27名

受講生1名が、「昇格、転勤により土曜出勤が増え、受講困難になった。」と辞退を申し出た。

1月25日（土）リモートによる面談を経て、「今回のリカレントは女性活躍にとって、とても有益な学びと感じており、大変残念だが、会社初の女性管理職として、今はそのチャンスを生かすために注力していきたい。」との本人の意思を尊重し辞退を認めた。

4.受講生の属性(n=28)

①年齢

20代	17.9%
30代	32.1%
40代	28.6%
50代	21.4%

20代から50代まで幅広い年齢層が受講

②子どもの有無

いる	40.7%
いない	55.6%
無回答	3.7%

約4割が子どもを持ち受講

③子どもの年齢層

未就学児	30.8%
小学生	15.4%
中学生・高校生	7.7%
大学生、専門学校生	30.8%
社会人	7.7%
無回答	7.7%

子どもを持つ受講生の中で、未就学児、小学生を持つ子育て世代が約半数であった。

④学歴

短大・専門学校卒	32.1%
4年生大学卒	64.3%
大学院卒	3.6%

4年生大学卒が6割以上

⑤雇用形態

正規社員	100%
------	------

正社員の割合が100%

⑥転職経験回数

転職経験なし	64.3%
1回	10.7%
2回	7.1%
3回	14.3%
4回以上	3.6%

6割以上が転職経験なし

⑦居住地

京都府	32.1%
滋賀県	3.6%
大阪府	21.4%
岐阜県	3.6%
埼玉県	3.6%
東京都	17.9%
千葉県	7.1%
福岡県	7.1%
鹿児島県	3.6%

関西圏以外から 4割以上受講

⑧マネジメント経験の有無（入校時）

経験あり	35.7%
経験なし	64.3%

経験はないが、入校後マネジメントを学ぶ層の割合が 6割強

5. プログラム全体への満足度 (n=27)

①自分のキャリアを考えるのに役立ったか。

大変役に立った	89%
まあまあ役に立った	11%
役に立たなかった	0%

100%がキャリアへの有益性を実感

②実際の学びが目的に合っていたか。

目的に合っていた	96%
どちらともいえない	4%
合っていなかった	0%

9割以上が目的合致性を実感

③リカレント教育課程全体への満足度

大変満足	78%
おおむね満足	18%
どちらともいえない	4%
不満	0%

100%近くが満足

④講座全体の難易度とカリキュラム指導への満足度

④-1 プログラムの難易度

難しかった	4%
やや難しかった	44%
どちらともいえない	37%
簡単だった、やや簡単だった	15%

リカレント受講生の多様性からばらつきが見られた。

5割近くが難しさを実感するも、教材、カリキュラム、指導内容へは9割以上が満足。

④-2 教材カリキュラム、指導内容への満足度

大変満足	63%
おおむね満足	33%
どちらともいえない	4%

⑤マネジメント力への自信について

⑤-1 入校時 マネジメント力への自信

⑤-2 修了時 マネジメント力への自信

まあ自信がある	4%		かなり自信がついた	7%
あまり自信がない	62%		自信がついた	74%
全く自信がない	34%		あまり自信がない	19%

入校時の 4%だった「まあ自信がある」が、
修了時には **8割以上**が「自信がついた」へと変化

⑥リーダーシップ力への自信について

⑥-1 入校時 リーダーシップ力への自信

⑥-2 修了時 リーダーシップ力への自信

まあ自信がある	7%		かなり自信がついた	19%
あまり自信がない	69%		まあ自信がある	63%
全く自信がない	24%		あまり自信がない	19%

入校時の 7%だった「まあ自信がある」が、
修了時には **8割以上**が「自信がある」へと変化

6.職場見学会（選択科目）

所属する企業とは異なる職場を見学し、事業内容や経営、職場での女性の働き方について知り、見分を拡げる目的で実施した。

関西圏だけでなく、九州や関東からの受講生も含まれるため、大阪、横浜、福岡の3拠点を用意した。

参加した受講生は、100%が「大変参考になった」と回答し、以下のように、女性管理職の講話を評価する意見が多かった。

- ・女性が活躍されている会社の実像を垣間見ることができ、自社にも取り入れていければと思った。
- ・他の会社を見学する機会はないので新鮮だった。座談会では実際の自分の悩みにも答えていただき、回答がとても参考になった。
- ・管理職の方の経験談が、今後の自身のキャリアを考える参考になった。

※平日の開催のため、仕事との調整が出来ない受講生が多く、参加者は、4割にとどまった。

●実施日：11月1日（金）13時～16時

事業所名	参加人数
西日本電信電話（株）（大阪梅田グランフロント）	6名
障がい者就労移行・支援事業所 Kaien(カイエン)（横浜）	4名
障がい者就労移行・支援事業所カムラック（福岡）	2名

職場見学会の様子



7. 成果報告会・修了式

① 成果報告会

実施日：2025年2月22日（土）13時～16時30分

様々な分野のマネジメントに関する学びを通じて、マネジメントをどう捉えるかについての考えを纏め、「私にとってのマネジメントとは？」というテーマで、パワーポイントを作成し、1人4分の時間設定で、プレゼンテーション形式で発表した。

「多様なマネジメントに関わる科目を学ぶことで、視野が広がった。」「マネジメントに関しては、多岐にわたる知識が必要だが、自分の興味ある分野というのが見えてきたので、その分野での学びを更に深めていきたい。」「多岐にわたる分野を学ぶことで、多くの気づきがあり、自身のキャリアの方向性を考えることが出来た。」など、マネジメント入門コースでの学びを統合し、評価する意見が、成果報告会の発表の中で多くみられた。

ハイブリッド形式での開催であったが、修了生27名中25名が大学へ来て参加し、対面で多くの受講生同士が楽しく交流でき、有意義であった。

成果報告会の様子





②修了式

修了式の様子



8.受講生へのフォローアップ

①開校前のフォローアップ（説明動画公開）

受講生のみが閲覧できるページをリカレントホームページ内に設けた。開校前に、学習システム、学内の施設、関係スタッフの紹介、リモート、ハイブリッドなど授業形態、今後のスケジュールなどを動画で分かりやすく紹介し、開校後の学習支援を行った。また質問があれば問い合わせるフォームを設け、コーディネーターが柔軟に対応した。

②第1回 オリエンテーション

実施日時：2025年10月12日(土) 13時～13時30分

実施形態：リモート

オリエンテーション時間を設け、今後授業で行われるリモートによるグループワークの注意点や手順の説明を行い、リモート授業に安心して取り組めるように実際にグループワークの練習を行った。オリエンテーションの最後には、安心できる環境を作るため、受講生同士の協力で実現できることについて、ディスカッションを行い共有した。リモートでの懇親会や親睦を深めたいとの意見や、講義の質問が共有できる掲示板が欲しいとの意見が出たので、学習システム内のディスカッション機能を使用することが決まった。

③授業後の質問タイム設置

リモート授業後は、毎回質問タイムを設けて、コーディネーターとティーチングアシスタントが質問にその場で対応した。

学習システムの使い方、課題提出の書き方、課題の期限などリモートを繋いでの対話形式でのやり取りで質問に答え、その場で解決を図った。

④受講生専用 お問い合わせフォーム設置

入講が決まってすぐ、リカレントホームページ内の受講生専用ページにお問い合わせフォームを設置して、オンライン中心で、対面機会が限られる中でも、いつでも気軽に質問出来るようにした。講座、システム、イベント内容など多岐についての問い合わせがあり、個々にメールにてコースコーディネーターが質問対応を行った。期間内に約100件の利用があった。

⑤成果報告会オリエンテーション

成果報告会のテーマ説明、パワーポイントの作成事例などを示し、自信を持って成果報告会に参加できるように、フォローアップをコーディネーターとティーチングアシスタントで行った。

⑥成果報告会個別相談

プレゼンテーションに慣れない受講生が3割ほど見られたために、リモートによる個別説明会日を設けてコーディネーターとティーチングアシスタントで対応した。

総数14件の申し込みがあり、パワーポイントの操作方法、テーマに基づくプレゼンテーション内容の表現、時間内で話せる纏め方などについて、1人30分の時間を設けて、相談に応じた。相談後、自信を持って発表できると、相談者からたいへん好評を得た。

⑦キャリアカウンセリング

外部機関のキャリアコンサルタントによるキャリアカウンセリングを希望者に計2回実施した。

全国から受講生が集まっていること、全員が正社員で働いていることから、土曜日の終日と平日の夕方以降を面談日に設定して、リモート（zoom）により行った。

相談内容は、今の職場についての悩み、5年後、10年後のキャリアの見通しについての相談が多かった。

○1回目：11月5日、11月9日、11月12日、11月14日、11月21日→参加人数：20名

○2回目：2月4日、2月6日、2月7日、2月8日、2月13日、2月15日→参加人数：16名

*1回目より2回目の参加が減少したのは、1回目の相談で解決した相談者が、2回目を希望しなかったためである。

キャリアカウンセリングへの評価

●1回目の相談後のアンケートでは、9割が、「キャリアカウンセリングを受けて良かった」と回答。

「どちらともいえない。」と回答したのは10%（20人中1名）のみだった。

●2回目は、100%が「キャリアカウンセリングを受けて良かった」と回答。

9.受講生ネットワーク構築

①第1回リモート懇親会

実施日時：10月12日（土）13時～14時30分

実施形態：リモート（zoom）

受講生が初めて顔を合わせる機会、一人ずつが自己紹介をリモートで行った。

②ハイブリッド講義後の歓談

実施日時：10月26日（土）、11月16日（土）、11月30日（土）、12月14日（土）、

12月21日（土）、2月1日（土）

実施形態：対面（ハイブリッド参加者のみ）

計6回のハイブリッド講義後、講義での気づきや課題について受講生同士がコミュニケーション持てるよう歓談室を設けた。受講生同士の親睦に役立った。

③受講生・修了生の交流会

実施日時：12月7日（土）15時15分～16時45分

場所：京都女子大学交流の床2階

実施形態：対面

池上彰氏を招いたリカレントシンポジウムに対面参加の受講生と修了生の交流会を実施した。修了生から「講座受講や課題提出の学習アドバイスが聞け、とてもためになった。」との意見が聞かれた。「このような機会を増やして欲しい。」との意見も多く出た。

茶菓を食べながら、和やかな雰囲気の中で、会話も弾んだ。リカレント修了後のネットワークについて、修了生が自主企画として行っている分科会へ興味を示す受講生がみられた。

④成果報告会意見交換会（茶話会）

実施日時：2月22日（土）16時30分～17時30分

場所：京都女子大学 E校舎 103 教室

実施形態：対面

27名中、25名が大学で成果報告会に参加したので、京都の老舗和菓子を楽しみながら、意見交換する機会を設けた。

「交流の機会がもっと欲しかった。」「今日がリカレントの中で最も楽しい日となった。」と交流を求める声が多く聞かれた。今後は、2024年度マネジメント入門コースでは、修了生分科会へ参加を望む有志たちで、修了生と共に、ネットワークを拡げていくこととなった。

茶話会の様子



⑤第2回リモート懇親会

実施日時：3月1日（土）10時～11時30分

実施形態：リモート（zoom）

リカレント教育課程では、修了後は、受講生の自主的な繋がり、ネットワークづくりを推奨しているが、今回は、要望を受けてコーディネーターが、第2回のリモート懇親会を設けた。1月に入り、開催を決定したために、14名の参加に留まったが、一人ずつが、自身の得意なこと、今後の抱負などを忌憚なく話し、自分を知って貰うための自己アピールを行い、懇親会は盛り上がった。今後は、修了生の分科会への参加を希望する声が多かった。



⑥修了生分科会への参加

実施日時：3月8日（土）13時30分～16時

実施形態：ハイブリッド形式

令和6年度マネジメント入門コースメンバーのネットワークづくりの一環として、修了生分科会へ有志の参加が決まった。

分科会は、修了生の自主活動であるが、初回はコーディネーターから修了生代表へ今までの分科会活動紹介とロールモデルセミナーの開催を依頼した。

修了生代表を含め、対面参加10名、リモート参加30名が参加した。パワー溢れる修了生の話で盛り上がり、受講生たちは勇気を貰った。

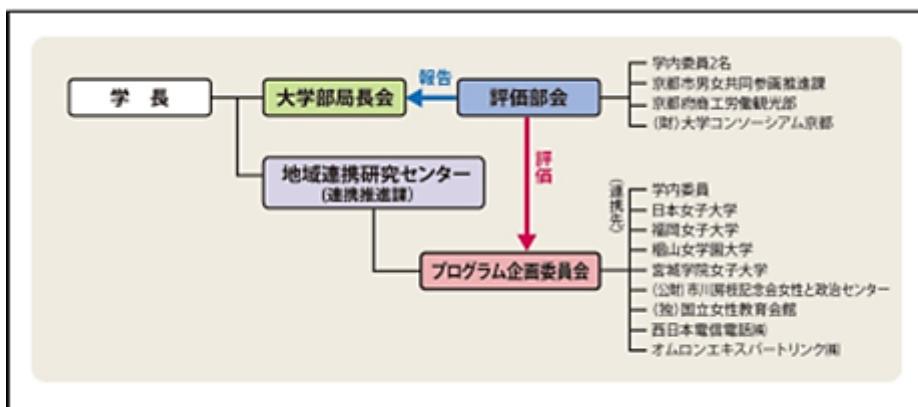
今後のネットワークや学びの継続に期待が持てる。

修了生分科会の様子



10.体制図

プログラム終了後、評価部会による評価を行い、プログラム企画委員会および本学の大学部局長会に報告し検証する。評価については、次年度のプログラム改善に活用する。



11.プログラム企画委員会

①委員

事業実施のために、プログラム企画委員会を発足した。全3回ともオンライン（Zoom）で実施した。

	氏名	所属・職名
1	高梨 博子	日本女子大学生涯学習センター所長
2	品川 啓介	福岡女子大学女性リーダーシップセンター副センター長
3	小間 佑子	福山女学院大学社会連携推進室長・課長補佐
4	天童 瞳子	宮城学院女子大学名誉教授
5	大河 巳渡子	(公財)市川房枝記念会女性と政治センター常務理事
6	渡辺 美穂	(独)国立女性教育会館研究国際室長(併)主任研究員
7	安原 孝治	西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部 エンタープライズビジネス営業部 文教営業部 教育DXグループ グループ長
8	田平 佳代子	オムロンエキスパートリンク㈱人財サービス部キャリア支援課
9	中山 玲子	京都女子大学副学長・地域連携研究センター長

②開催日

【第一回】令和6年9月13日（木）

- ①文科省令和6年度予算事業 女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業（ウィミンズカレッジ（KNFSM）連携マネジメント入門コース）について
- ②志願状況と合格者数について
- ③判定結果
- ④今後のスケジュール
- ⑤その他

【第二回】令和7年1月22日（水）

- ①文科省による現地視察について（報告）
- ②第一回文科省有識者会議について（報告）
- ③受講生修了時アンケート案
- ④事業評価指標
- ⑤成果報告会について

【第三回】令和7年3月4日（水）

- ①受講生修了時アンケート（報告）
- ②外部評価委員会評価（報告）
- ③第二回有識者会議（報告）
- ④その他

12.評価部会の評価

プログラム評価委員（京都府、京都市、コンソーシアム京都、本学副学長2名）に本プログラムの評価を以下の指標で評価実施した。

【実施時期】令和7年2月5日～2月15日

【実施方法】web(form)アンケート

【質問項目】 「プログラムのカリキュラム全体の有益性」「受講生同士のネットワーク形成の有益性」「プログラムの目的の達成」について4件法で質問した。

有用性（大変役に立った、まあまあ役に立った、役に立たなかった、まったく役に立たなかった）

また、それぞれの項目について意見を記述式で回答を依頼した。

① 評価部会委員

京都府商工労働観光部企画調整理事兼副部長 河島 幸一
京都市共生社会推進室男女共同参画推進課長 狩野 千秋
京都市総合企画局総合政策室大学政策部長 西川 千喜子
京都女子大学副学長・ジェンダー教育研究所所長 手嶋 昭子
京都女子大学副学長・地域連携研究センター長 中山 玲子

② 評価結果

KPIについては、「カリキュラム全体の有益性」「受講生ネットワーク形成への有益性」の平均値「3以上」、「本プログラムの達成度」の平均値「3.8以上」と定めていた。
いずれの指標も達成した結果となった。

	学外 評価委員A	学外 評価委員B	学外 評価委員C	学内 評価委員D	学内 評価委員E	平均
カリキュラム全体の有益性	3	4	4	4	4	3.8
受講生同士のネットワーク形成への有益性	3	4	3	3	3	3.2
本プログラムの達成度	3	4	4	4	4	3.8

なお、学外評価委員からは本プログラムに対する高い評価を得た。

	コメント内容
学外評価委員A	講座に対する受講生の評価が高く、有益かつ実用的な内容であったことが推察される。事業の持続可能性を考えると、 関係機関との一層の連携強化と受講後の長期的なフォローアップ体制や同窓会的組織体制の構築も視野にいれていただきたい。
学外評価委員B	どの項目も高い評価となっており、本事業の有効性を確認できた。昨年度の成果を踏まえ、連携大学を増やし、意欲的に事業を展開している。 今後も、他大学を牽引する役割を担い、京都での学びの価値の向上、全国の高等教育の発展に寄与いただきたい。
学外評価委員C	今年度のプログラムはマネジメント力を養成するためファイナンス系の科目とジェンダー平等と男女共同参画社会の実現に資する科目が加わり、受講生にとって有益な内容であったと思う。 今後も引き続き意欲ある女性に有意義な機会を提供され、それぞれの自己実現をサポートされることを願っている。

13.講座一覧

提供機関	領域	科目名	回数	時間	授業形態
合同	入校式・オリエンテーション	入校式・オリエンテーション	1	2.5	オンライン
京都女子大学	「キャリア」のマネジメント	ライフキャリアデザイン(キャリアについて)	2	3	ハイブリッド
	「人」のマネジメント	人的資源管理	5	7.5	オンライン(オンデマンド)
	「組織」のマネジメント	組織マネジメント	6	9	オンライン(オンデマンド)
	リーダーシップとネットワーク	ロールモデルセミナー第1回：地域女性リーダー	2	3	ハイブリッド
日本女子大学	「時間」のマネジメント	タイムマネジメント講座(東京商工会議所連携講座)		5.5	オンライン(Zoom)
福岡女子大学	戦略的思考とリーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ	3	4.5	ハイブリッド
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ	3	4.5	ハイブリッド
堀山女学園大学	ファイナンス	ファイナンス入門	3	4.5	オンライン(Zoom)
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシー	5	7.5	オンライン(オンデマンド)
京都女子大学 宮城学院女子大学 女性教育機関	ジェンダー平等と男女共同参画社会	ジェンダーダイバーシティ入門 第1回から第4回	4	6	オンライン(Zoom)
京都女子大学	シンポジウム	京都女子大学リカレントシンポジウム	1	3	対面・録画
合同	職場見学 (選択科目)	NTT西日本(大阪)・就労支援施設(東京/福岡)	1	5	対面
合同	その他	成果報告会演習	1	1	オンライン(Zoom)
		成果報告会・修了式	1	4	ハイブリッド
総時間数				70.5	

14. 時間割

2024年度 マネジメント入門コース リモート科目時間割（予定）注意：日程は、今後変更になる可能性があります

日程	1講時	2講時 (10:35~12:05)	3講時 (13:00~14:30)	4講時 (14:45~16:15)
10/12 (土)	入校式(10時~)	オリエンテーション・リモート懇親会	<u>ジェンダーダイバーシティ入門①</u> 京都女子大学学長提供講座	
10/19 (土)		← タイムマネジメント講座（東京商工会議所連携講座）※10:00~16:30 (休憩1h) →		
10/26 (土)		<u>ジェンダーダイバーシティ入門②</u> 国立女性教育会館提供セミナー	<u>ロールモデルセミナー①</u> 地域女性リーダー ※ハイブリッド	
11/1 (金)		職場見学会(自由選択科目)		
11/16 (土)		<u>ロールモデルセミナー②</u> 企業女性リーダー ※ハイブリッド	人的資源管理(中田先生) ※ハイブリッド	
11/30 (土)		<u>ジェンダーダイバーシティ入門③</u> 地域女性とリーダーシップ (宮城学院女子大学)	<u>ライフキャリアデザイン①</u> ※ハイブリッド	
12/7 (土)			京都女子大学リカレントシンポジウム 13:00~15:00 シンポジウム（対面・録画） 15:15~16:15 交流会（対面参加者のみ）	
12/14 (土)		←イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ	（福岡女子大学）→※ハイブリッド	
12/21 (土)		←イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ	（福岡女子大学）→※ハイブリッド	
1/11 (土)		<u>ジェンダーダイバーシティ入門④</u> (公財)市川房枝記念会女性と政治 センター提供セミナー	<u>ファイナンス入門①</u> (桜山女子学園大学)	
1/25 (土)		<u>ファイナンス入門②</u> (桜山女子学園大学)	<u>ファイナンス入門③</u> (桜山女子学園大学)	
2/1 (土)		<u>ライフキャリアデザイン②</u> ※ハイブリッド	成果報告会オリエン・質問	
2/22 (土)			成果報告会/修了式（13:00~16:30） ※ハイブリッド	

※ハイブリッド：対面（大学での受講）かリモート（Zoom）どちらでも参加できる講義形態です。

*時間割は、変更される場合がありますのでご了承ください。

●オンデマンド授業公開（詳細は受講生専用ページ参照）

科目	回数
<u>組織マネジメント</u>	12月5日現在、5回目まで公開、6回目12月12日公開予定
<u>人的資源管理</u>	1回目10月31日、2回目11月16日(ハイブリッド授業)3回目12月9日、4回目 12月23日、5回目1月8日 公開予定
<u>AIリテラシー(NTT西日本)</u>	90分×5回 全て10/10公開済み

15.シラバス

ライフキャリアデザイン

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	ライフキャリアデザイン(キャリアについて) 【オンライン・オンデマンド】
開講日程(学期・曜日・講時)	11/30土曜日、2/1土曜日
担当者	松下澄子

副題	自分らしさを理解し、未来のキャリアを描く		
授業の到達目標	自己理解を深め、自分の価値観や強みを再確認し、今後のキャリアにおいて何がしたいのか、何をするべきかが明確になっていること。また、その方策を理解し実践する力を養うことができていることを目指します。		
授業の概要	過去の経験と現在の状況を振り返り、自己理解を深めることで、今後のキャリアを考える視点を提供します。キャリアデザインの基本を学び、将来に向けた柔軟な視点と行動のヒントを得ることを目的としています。		
授業の計画	第1回【11/30(土)】	ライフキャリアデザインの重要性と自己理解	
	第2回【 2/1(土)】	未来の自分を描く	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業の達成度	100%	・ワークショップやディスカッションへの積極的な参加 ・キャリアプラン「わたしの航海図」の作成と提出
履修生へのメッセージ	自分らしいライフキャリアについて考える大切な時間を持ちます。過去・現在・未来に想いをめぐらせて、仲間とも大いに語り合い、自分らしく働くためのヒントをведитеください。		
教科書	購入が必要な図書や教材はありません。		
参考書			

人的資源管理

2024マネジメント入門

科目名/授業形態	人的資源管理/オンデマンド
開講日程（学期・曜日・講時）	10月下旬より順次アップ予定
担当者	小椋幹子

副題	組織と「人」との幸せな関係とは	
授業の到達目標	<p>①人的資源の主要な概念や考え方を理解できるようになること、 ②今後の日本企業の人的資源管理について自分なりの意見が述べられる ようになること、 ③①②を習得することで、メタ視点をもち、自分のエンプロイアビリティ (雇用され得る力) を高める一助とすること。</p>	
授業の概要	<p>「人的資源」は4つの経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）のうちのひとつであり、「人的資源管理」とは、組織としてのパフォーマンスをあげ、個人の成長をもたらすための営みといえます。本講義では、個人と組織の幸せな関係を考えるとともに、女性のキャリアにプラスになるような新しい働き方や学び、キャリア管理についても触れていきたいと思います。</p>	
授業の計画	第1回	イントロダクション～戦略的資源とは～
	第2回	日本企業の人的資源管理の特徴と課題
	第3回	組織的関与と従業員の学びの継続（経験学習、越境学習、学習転移等）
	第4回	ハイパフォーマーの行動特性とチームワーク
	第5回	人的資源管理とリーダーシップ ～サーバントリーダーシップ～
評価方法	評価項目	配分(%)
	最終簡易テスト (レポート)	100%
履修生への メッセージ	この講義を「組織や企業（雇用する側）からの視点を獲得し、個人の〈ワークライフ＆スタディバランス〉をはかり、組織のパフォーマンスをあげること」を考えるきっかけにしてください。	
教科書	指定なし	
参考書	『人的資源管理』上林憲雄著、中央経済社、2016年	

組織マネジメント

2024【マネジメント入門コース】

科目名/授業形態	組織マネジメント/オンデマンド
開講日程(学期・曜日・講時)	10月中旬より順次アップ
担当者	藤原浩一

副題	自分自身と皆が生き生きと働くために	
授業の到達目標	組織の上に立つ人は、組織に働く人々の心理をよく理解し、組織のあり方と構造を設計しつつ、企業の活動目的と結びつけるように組織をマネジメントする必要があります。本授業ではその基本的な考え方を体系的に学ぶことを通じて、よき組織マネジメントの実践者、リーダーとなることを目標とします。	
授業の概要	第1～3回は組織マネジメントを考える基礎を学びます。第1、2回は組織設計や構造など、組織マネジメントを理解するための基礎理論を学びます。第3回は人間心理面からの組織マネジメントを学習します。第4回は第1～3回を踏まえて、会社全体の視点からの組織マネジメントについて、特にコーポレート・ガバナンスとリスク・マネジメントの視点から総括します。第5回は実際の優れた企業事例の紹介をします。第6回はこれから10年先を見据えた組織マネジメントのあり方を考えます。	
授業の計画	第 1 回	組織とは何か？（組織は戦略に従う？：組織構造の基本類型、GM型からアジャイル、チーム型まで）
	第 2 回	組織マネジメントの基礎理論の体系的整理（ティラーのストップウォッチサイエンスから現代まで）
	第 3 回	組織に働く人の心のマネジメント（新しいリーダーシップ、矛盾した心理のマネジメント、心理的安全性等）
	第 4 回	組織行動とコーポレートガバナンスの重要性（組織文化、集団思考、自滅する組織等とコーポレート・ガバナンス、全社視点のリスク・マネジメント（ERM）の重要性）
	第 5 回	優れた組織マネジメントを実行できている企業の研究（キヤノンの戦う間接部門、Appleのエコシステム、リクルートの心理学組織マネジメント、三菱商事のリスクマネジメント等）
	第 6 回	人間社会における企業組織が果たす役割（ESG,SDGs,CSV,CSRを戦う力にする視点）
評価方法	評価項目	評価の観点
	中間簡易テスト(レポート)	何を学び考えるべきと思ったのか、自分なりの簡潔なレポート(A4、1枚以内)
	最終簡易テスト(レポート)	中間簡易レポートの総括
	授業の達成度	授業を受ける前と受けた後での自分の中での変化を自己評価する。特に知識を得ることで見えるようになったことを確認する。
履修生へのメッセージ	一度組織に属して働くとその組織以外のことはよくわからないかも知れません。他の会社組織も同じなのでしょうか。IT企業の組織マネジメント、銀行や製造業の組織マネジメントは同じではありません。大企業の組織マネジメントから中小企業が学ぶべきことがあります。逆に規模の小さな組織から大企業が学ぶべきことがあります。より良い組織とはどのようなものか、授業を通じて追求して参りましょう。	
教科書	指定なし。	
参考書	S.クレイナー「マネジメントの世紀1901-2000」東洋経済新報社、2000年	

ロールモデルセミナー①②

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	ロールモデルセミナー(地域リーダー・企業リーダー)【ハイブリッド】
開講日程(学期・曜日・講時)	10/26(3講時) 11/16 (2講時)
担当者	筒井万衣子・草薙千尋

副題	リーダーシップ実践について知る		
授業の到達目標	企業、地域それぞれの領域で経験が豊富で、現在活躍中のリーダー女性から、その経験やリーダーシップ実践について学ぶことで、知識の幅を広げ、自身の業務に役立てる。		
授業の概要	企業、地域とそれぞれの領域で活躍の女性リーダーから、これまでの経験や後輩に伝えたい事柄等を中心に話していただく。女性として管理職に就く際の苦労、乗り越え方などをリアルに伝えていただく内容とする。講義の中では、自身のキャリアについての考え方についても触れていただくロールモデルセミナーとする。		
授業の計画	第1回【10/26 (土)】	京都市社会福祉協議会 草薙千尋氏による 地域リーダーの在り方・実施について	
	第2回【11/16 (土)】	NTT西日本 筒井万衣子氏による企業での リーダーシップの実践について	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	中間簡易テスト(レポート)		設定せず
	最終課題(レポート)	100%	
	授業の達成度		* 課題を通して確認します。
履修生への メッセージ	講義は、ハイブリッドとしているため、ご無理の無い範囲でご来校いただき、実際にお目にかかり、お話しが出来る機会になれば嬉しいです。 自分たちの経験が少しでも受講生の皆さんに役立つことが出来ればと考えますので、授業後に質問タイムを設けたり、学習システムを通し質問を受け付けたりして、対応していきたいと思っています。		
教科書	講師資料		
参考書	特になし		

タイムマネジメント講座

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	タイムマネジメント講座(東京商工会議所連携講座)【オンライン】
開講日程(学期・曜日・講時)	10月19日(土)10時～16時30分
担当者	水口和彦

副題	ビジネスパーソンのための時間術講座		
授業の到達目標	生産性向上や時間外労働削減を求められる職場において、限られた時間を有効活用し、仕事とプライベートを両立しながら成果を生み出すスキルを身に付けることを目指します。		
授業の概要	毎日発生するさまざまなタスクを効率的に整理し、仕事量をコントロールしながら計画を立てる方法や、突発的に飛び込んでくる仕事への対処法、効率的なメールの処理方法など、実務に直結する時間術を具体例を交えて解説します。		
授業の計画	<ol style="list-style-type: none">1. タイムマネジメントとは ・タイムマネジメントとは? ・スケジュール管理からタイムマネジメントへ2. 効率的なタイムマネジメントの手法 ・時間を可視化する: アポイントメントの管理 ・行動として計画する: タスクの管理・可視化 ・タスクが発生したときの判断基準 ・「仕事」は分割して「タスク」にする ・予定外の仕事による問題点と対策 ・簡単にできる「時間の使い方」のふり返り3. タイムマネジメントの応用 ・長期的な仕事と短期的な仕事の両立 ・負担にならない進捗管理の方法 ・タイムパフォーマンスを高める習慣: メール ・テレワーク・オンラインで起こる問題点と対策 ・効率的な会議を行うために4. 問題点の把握と対策案の検討 <p>※講義はグループワーク等を交えて交流参加型で進めます。</p>		
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	最終簡易テスト(レポート)	100%	基本概念の理解と改善への意識など
履修生へのメッセージ	タイムマネジメントと聞くと「難しそう」「大変そう」という印象を持つ方も多いですが、それはやり方しだい。手間をかけずに実行できて、突発の仕事に柔軟に対応できる方法を紹介致しますので、ぜひご受講ください！		
教科書	講師作成のオリジナルテキスト		
参考書	無し		

イノベーション・マネジメントとデザイン思考 I

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	イノベーション・マネジメントとデザイン思考 I【オンライン】
開講日程(学期・曜日)	12月14日(土)
担当者	品川啓介

副題	デザイン思考の基本を体験する		
授業の到達目標	基礎的なデザイン思考を用いて、新規事業案を発想する手法を身に付ける		
授業の概要	多くの組織は既存事業の改善は慣れていると思いますが新規事業(イノベーティブなもの)の立案には手をこまねくことは多いのではと思います。まずは着手する自信を身に付けるために、基本的なデザイン思考法(アイデアの発想法の一つ)を体験、ビジネスモデルに落とし込む手法を考えます。その後近年の有力とされるアイデア発想法比較し夫々の特徴を探ります。		
授業の計画	2講時	デザイン思考を体験する	
	3講時	デザイン思考で生まれたアイデアをビジネスモデルに落とし込む	
	4講時	近年のアイデア発想法(デザイン思考、アート思考など)を比較する	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	出席・参加		
	最終簡易テスト(レポート)	30%	それぞれの解釈で良いので筋立てて表現できたか
	授業の達成度	70%	ディスカッション、グループ発表に対する授業貢献度
履修生へのメッセージ	最近、デザイン思考、アート思考といった言葉を良く耳にしませんか？イノベーティブなアイデアの発想法です。これらを含む、アイデアの発想に関わる研究の歴史は浅く、まだ発展の段階です。このため今が追いつくチャンスです。これを機会に、そのエッセンスを学んでみませんか？楽しいワークから始め、理論を学び、ビジネスモデルへの落とし込み方もディスカッションしましょう。		
教科書	講師の資料を中心に進めます		
参考書	講師が参考資料を用意します		

イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ【オンライン】
開講日程(学期・曜日)	12月21日(土)
担当者	品川啓介

副題	理論・事例を体系的に学ぼう		
授業の到達目標	イノベーションの事例を分析できる		
授業の概要	多くの組織は既存事業の改善は慣れていると思いますが新規事業(イノベーティブなもの)の立案には手をこまねくことは多いのではと思います。これに着手する自信を身に付けることを目的に、学術的な側面からイノベーションとは何か、どのような種類(&特徴)があるかを学び、事例を皆さんと分析します。最後に各発想法の運用方法との関連性を見出します。		
授業の計画	2講時	イノベーションって何だろう	
	3講時	イノベーションの事例を分析する	
	4講時	イノベーション & デザイン思考を踏まえてマネジメントを考えよう	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	出席・参加		
	最終簡易テスト(レポート)	30%	それぞれの解釈で良いので筋立てて表現できたら
	授業の達成度	70%	ディスカッション、グループ発表に対する授業貢献度
履修生へのメッセージ	日本に住む人々は昔から工夫がとても好きで多くのイノベーションを生み出してきました。そんな日本も最近ではこれがやや停滞している感があります。その一方で、欧米ではどんどん躍進しているようですがその背景にはイノベーション・マネジメントを扱う大学が増えたことがあります。そこで、なじみの薄い方にもわかりやすく解説しその楽しさを届けたいと思います。		
教科書	講師の資料を中心に進めます		
参考書	コア・テキストイノベーション・マネジメント近能善範, 高井文子著 (ライブラリ経営学コア・テキスト, 12)新世社, サイエンス社(発売), 2010.12		

ファイナンス入門

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	「ファイナンス入門」【オンライン】
開講日程(学期・曜日・講時)	1月11日3講時・1月25日2講時～3講時
担当者	瀧澤創

副題	なぜファイナンスが重要なのか？		
授業の到達目標	1. 現在価値、将来価値を理解する。 2. リスクとリターンの概念を理解する。 3. 株式の基本を理解する。		
授業の概要	ビジネスでのファイナンスの重要性を確認する。時間的価値を考慮した現在価値・将来価値の考え方を学んだ後、リスクとリターンの基本概念と計算方法を学習する。株式入門として、株式会社や株式市場の枠組みを概観するとともに株式の期待リターンに関する考え方を学ぶ。		
授業の計画	第 1回【1／11 (土)】 3講時	現在価値と将来価値	
	第 2回【1／25 (土)】 2講時	リスクとリターン	
	第 3回【1／25 (土)】 3講時	株式入門	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	出席・参加	20%	積極的な質問を歓迎します
	最終課題	80%	講義内容の理解度を確認します
履修生へのメッセージ	ファイナンスの基本概念を理解し、株式の役割や株式市場から発せられる情報の意味に関して知識を得ることは、今後のキャリアアップに役立つでしょう。本講義では難しい数学は使いませんが、簡単なファイナンスの計算問題を一緒に解くことで、ファイナンスの概念をより身近に感じて頂ければと思います。		
教科書	指定しない		
参考書	斎藤正章・阿部圭司 『ファイナンス入門』放送大学振興会. 砂川伸幸 『コーポレートファイナンス入門』日経文庫		

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	AIリテラシー【オンデマンド】
開講日程(学期・曜日・講時)	オンデマンド
担当者	NTT西日本 大林正人

副題	AIを理解し恐れずに向き合い活用するために		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> AIの成長と社会の変化との関係を理解し、AIと人間との関係や課題を考える。 AIの基本的な仕組み、機械学習やディープラーニングなどの技術の基本を理解する。 生成AIやWeb3.0など近い将来ビジネス変革をもたらすといわれる最新の技術を理解するとともに、ChatGPTを使ってみる。 日常生活やビジネスにおけるAIの活用例を理解する。 		
授業の概要	<p>人手不足、DXなど経済環境が変化する中で、AIの活用による課題解決が必要とされ、AIは既に様々な業界で活用されております。そこで、業務においてAIと向き合うための基本的な知識として、AIと社会との関係、AIの基本的な仕組みや、AIの活用事例を学びます。またChatGPTなどの生成AIやWeb3.0など次世代の技術についても学びます。</p>		
授業の計画	第 1回	AIの成長と社会・人間との関わり	
	第 2回	AIの基本知識とキーワード	
	第 3回	次世代技術 生成AIとWeb3.0	
	第 4回	AI活用事例を業種別にみる(1)	
	第 5回	AI活用事例を業種別にみる(2)	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	確認テスト(レポート)	70%	AIを知るための重要ポイントの理解度
	最終課題(レポート)	30%	AIを理解し自ら向き合い方を考えられる力
	その他	無し	*上記2項目にて評価
履修生へのメッセージ	<p>「AIを業務で活用したいが、わからないままに使うのは不安だ。」「AIは万能で人間に取って代わる存在なのか?」—AIについて漠然とした疑問や不安をお持ちの方も多いかと存じます。この機会にAIの私たちの社会との関わり、基本的な仕組み、活用事例、そして次世代技術を学ぶことで、少しでも疑問や不安を解消し、AIと前向きに向き合い、自ら業務における活用法を考えられる力を身に付けていただければと思います。</p>		
教科書	NTT西日本制作(配信)		
参考書	指定しません。		

ジェンダーダイバーシティ入門①～④

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	【オンライン】ジェンダー ダイバーシティ入門
開講日程	10/12,10/26,11/30,1/30,1/11 2講時目
担当者	代表:竹安 栄子

副題	ジェンダー視点からみた日本の現状		
授業の到達目標	ジェンダーに関する基本的知識の修得とジェンダー視点からみた日本の現状を学ぶことにより、自らが就労することが、個人の自己実現に留まらず市民としての役割遂行という社会的意義をもつことを認識する。		
授業の概要	ジェンダー概念の整理、ジェンダー平等の実現が社会の持続的発展に持つ意義の確認、世界との比較の視点からみた日本社会のジェンダー格差の現状などの総論に統いて、ジェンダー視点からの様々な情報収集の方法、地域社会におけるジェンダー平等の意義、政治領域における女性の政治参画の現状の各論を学ぶ。		
授業の計画	第1回【10/12(土)】 京都女子大学	女性のためのリカレント教育の意義	
	第2回【10/26(土)】 国立女性会館	ジェンダー視点からの持続可能な地域づくり	
	第3回【11/30(土)】 宮城学院女子大学	地域女性とリーダーシップ	
	第4回【1/11(土)】 市川房枝記念会 女性と政治センター	女性と政治参画	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業参加・課題提出	100%	授業参加と各講師からの課題提出
履修生へのメッセージ	日本は2024年のジェンダーギャップ指数が118位(164ヶ国中)と世界最低レベルです。日本で暮らしていると当たり前と思っている男女の役割格差も、世界の多くの国では解消されつつあります。何よりの問題は、人口爆縮時代に突入する日本にとって労働分野の男女格差の解消が喫緊の課題である、という認識が社会で共有されていないことです。本学リカレント教育課程で学んだ成果を生かして社会に貢献されることが、日本の未来を救うことにつながるという確信と自信を持っていただけるものと期待しています。		
教科書	指定せず(各講師資料)		
参考書	指定せず		

成果報告会

2024【マネジメント入門コース】

科目名・授業形態	成果報告会【ハイブリッド】
開講日程(学期・曜日・講時)	2月22日(土)13時～16時位を予定
担当者	リカレント教育課程事務局

副題	リカレント教育課程で学んだこと		
授業の到達目標	リカレント教育課程で何を学び、自分自身に変化を感じるか、今後どのように学びを活かしていきたいかについて等、それぞれの成果を見つめる機会とする。 自分で資料を作成し、プレゼンテーションする場を経験する。		
授業の概要	1人1人が、リカレント教育課程の学びを振り返り、自己や受講生同士で確認する機会として、PowerPoint資料を作成し、個々に発表する。 プレゼンテーション能力は、今後リーダーをめざす人材には必要であるため、これまで経験が無い方にも、練習機会を設ける。		
授業の計画	2/1(土)	オリエンテーション	
	2/22(土)	成果報告会 * PowerPoint作成方法など質問には、コーディネーターとTAが適宜、対応します。	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	成果報告会への出席と発表	100%	対面orリモートでの出席が条件です。
履修生へのメッセージ	成果報告会はハイブリッド方式での開催です。昨年度は約80%の受講生が最後、大学に集まつての開催となり、大いに盛り上りました。ご無理のない範囲で、顔を合わせる機会になればと考えます。 このコースは、様々な経歴の方が受講されるので、プレゼンテーションの経験も個人により違っていると予想します。経験無くても心配はありません。この機会に、しっかりと学んでいただけるように、遠慮なく質問いただければと思います。		
教科書	指定教科書はありませんが、パワーポイント資料の作成などについて、必要な場合はレクチャーを行います。		
参考書	特に無し		

リカレント受講生・修了生専用

**京都女子大学
リカレント教育課程**

**シンポジウム「リカレントで拓く未来」
&受講生・修了生交流会 開催のお知らせ**

参加費無料

京都女子大学リカレント教育課程は、令和6年度で7年目を迎え、これまでに延べ296名の修了生を輩出しました。
今回は、リカレントとキャリアの関係に着目し、リカレントの可能性について考えたいと思います。
シンポジウム修了後は、受講生・修了生が歓談できる会場を設けますので、是非、ご参加ください。

日時:2024年12月7日土

▶シンポジウム:13時~15時(受付12時30分~)
▶シンポジウムは受講生・修了生以外の一般の方も参加しています
▶受講生修了生交流会:15時15分~16時45分

場所:京都女子大学 図書館交流の床ホール

▶13時~13時30分 基調講演「リカレントでキャリアを拓く」
池上 彰 本学客員教授
文部科学省委託事業(R2~R5)

▶13時30分~13時50分 京都女子大学リカレント教育課程の報告
中山 玲子 京都女子大学副学長 地域連携研究センター長

▶13時50分~14時40分 パネルディスカッション
テーマ「リカレントで広がる・つながる」
池上 彰 本学客員教授
中山 玲子 本学副学長 地域連携研究センター長
リカレント教育課程修了生(予定)
小椋 幹子 本学連携推進課長

▶14時40分~14時55分 質疑応答

▶15時 閉会

▶15時15分~16時45分 **受講生・修了生交流会** *交流会のみ参加も可
京都女子大学リカレント教育課程受講生・修了生限定
リカレントシンポジウムの後に、自由に歓談いただける会場を用意します。希望者全員がご参加いただけるよう
に準備し、会場(場所)は、シンポジウムの抽選結果と共にご連絡をいたします。

申込方法
Webサイトの申込専用フォームによる事前申込制。
右側のボタンまたはQRコードから申込フォームにアクセスし
お申し込みください。

定員
リカレントシンポジウム定員
対面 80名 動画配信(1月10日配信予定)150名
定員を上回る申し込みがあった場合は抽選とさせていただきます。
抽選結果については、11月30日にメールにてお知らせいたします。
※交流会は全員がご参加いただけます。

申込締切
令和6年11月26日(木)23時

**受講生・修了生専用
申込フォームはこちら**

スマートホンでこちらの
QRコードを読み取っても
アクセスできます。

RCGP
The Research Center of
Community Partnership

〒605-8501
京都市東山区今熊野北日吉町35
京都女子大学 地域連携研究センター

TEL: 075-531-7080
Mail: renkei@kyoto-wu.ac.jp
<https://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/>



ジャーナリスト・京都女子大学客員教授
池上 彰 (いけがみあさら)
1950年、長野県生まれ。1973年、記者としてNHK入局。松江、興での勤務を経て東京の報道局社会部。
1994年より2005年まで「週刊こどもニュース」の「お父さん」。
2005年に独立。フリーランスのジャーナリストとして活動。現在、名城大学や東京工業大学、東京大学など8つの大学で教鞭をとる。2021年より、京都女子大学客員教授。

シンポジウムの様子



17. 主な広告媒体

①ホームページ

リカレント講座の詳細、応募、ニュースによる活動報告まで、広告媒体として有効に活用した。

マネジメント力の基礎を身につけたい方に

京都女子大学
リカレント教育課程

土曜日リモート + オンデマンド授業

マネジメント入門コース

ウェブセミナー(KNFSM)連携
京都女子大学・日本女子大学・専修女子大学・青山学院女子大学

60時間修習証明プログラム
令和6年度文部科学省 女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業

2024年度に限り
受講料1万円(税別)で受講可

自信を糧に、さらに前進。

マネジメント力向上を実感できる学び

女性が活躍の機会が選択されているが、今まで研修機会に選択されず自信がない。ロールモデルとなる先輩が、社内には少ない。子育てと両立できるか不安であるといった理由で、折角のチャンスに前向きになれなかつたり、悩みながら悩んでいたりするケースが少なくない現状があります。このコースでは、女性教育やリカレント教育に実績ある5大学や女性教育機関が連携してつくりあげたプログラムを提供します。

昨年度の受講生の多くがマネジメント力向上を実感し、全国から集まつたときの400名の学び仲間とのネットワークが築け、模範が広がったと高い評価を受けました。

昨年度、受講生の85%がマネジメント力に自信をつけた。

【受講前】	【受講後】
自信があった 2.9%	自信がない 2.9%
自信がなかった 49.0%	自信がなかった 37.1%
自信がついた 47.1%	自信がついた 71.4%

受講前は、マネジメント力に自信がなかった割合が97%。受講後は自信を持つ割合が85.7%と好結果。

*名和ら半導体講生アンケートより(n=35)

マネジメント入門コースのリーフレットは[こちら](#)

マネジメント入門コースの特徴

特徴1 女子教育に実績ある5大学や女子教育機関が連携した講義。

京都女子大学、日本女子大学、専修女子大学、青山学院女子大学、女子教育機関が連携してプログラムを提供。実績ある講師陣がリモート授業でも一方通行に終わらないリアル感ある授業を提供します。

特徴2 全国どこからでも受講可能。働く女性同士のネットワークが広がります。

オンライン授業なので、全国どこからでも受講可能です。ハイブリッド型授業やシンポジウムは大学でも受講できます。昨年度は、講師陣や受講生同士のネットワークが広がったと好評でした。

特徴3 安心して学べる充実したサポート体制。

昨年度は100%の受講生が異事務所し、認修証明書を手にしました。専任コーディネーターを配置し、学ぶ目的や目標を共有し、総合的に学べるようサポートします。希望者は、今後のキャリアについてなど相談できるキャリアカウンセリングが受けられます。

Home タイムスケジュール スタッフ紹介 京女学部魅力 アクセス お問い合わせ NEWS

ページのトップへ



京都女子大学
連携推進課・
地域連携研究センター

Copyright © Kyoto Women's University All Rights Reserved.



②リーフレット（表）

連携先企業への配布を中心に、ホームページへの誘導をはかった。

文部科学省 令和6年度「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」
ウィミンズカレッジ (KNFSM) 連携 マネジメント入門コース 60時間修了プログラム

京都女子大学
リカレント教育課程 2024年度3コース開講

学びを糧にさらに前進



土曜日のリモート授業+オンデマンド授業で
マネジメントの基礎を学ぶ！

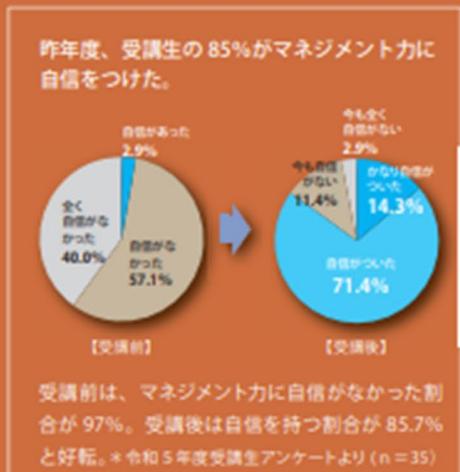
2024年度受講生募集

【応募期間：2024年7月1日～8月26日必着】

文部科学省事業を受託して開講するため、
2024年度に限り受講料が1万円(管理費)のみで受講できます。

マネジメント力向上を実感できる学び

昨年度、受講生の85%がマネジメント力に自信をつけた。



自信があった	自信がなかった
【受講前】	自信があった 2.9% 自信がなかった 40.0%
【受講後】	自信があった 71.4% 自信がなかった 14.3%

受講前は、マネジメント力に自信がなかった割合が97%。受講後は自信を持つ割合が85.7%と好転。*令和5年度受講生アンケートより (n=35)

特徴 1 女子教育に実績ある5大学や女子教育機関が連携した講義。

京都女子大学、日本女子大学、福岡女子大学、福山女学院大学、宮城学院女子大学や女子教育機関が連携してプログラムを提供。実績ある講師陣がリモート授業でも一方通行に終わらないライブ感ある授業を提供します。

特徴 2 全国どこからでも受講可能。働く女性同士のネットワークが築かれます。

オンライン授業なので、全国どこからでも受講可能です。ハイブリッド型授業やシンポジウムは大学でも受講できます。昨年度は、講師陣や受講生同士のネットワークが築かれたと好評でした。

特徴 3 安心して学べる充実したサポート体制。

昨年度は100%の受講生が無事修了し、修了証明書を手にしました。専属コーディネーターを配置し、学ぶ目的や目標を共有し、統合的に学べるようサポートします。希望者は、今後のキャリアについてなど相談できるキャリアカウンセリングが受けられます。

京都女子大学 日本女子大学 福岡女子大学 福山女学院大学 宮城学院女子大学

スケジュール（予定）

6月	7月	8月	9月	10月～3月
6 6 6 10 リカレント 説明会 「池上彰氏が語る リカレント教育と女性リーダー育成」	7 7 1 13 個別 説明会 実施予定 と 個別相談会実施期間	8 2 8 26 リカレント出願期間 (8/26必着)	9 9 9 6 7 9 選考・面接期間 選考結果発表	9 20 9 24 オリエンテーション開始 (オンライン マッチング 配信)

※開講科目・スケジュールの予定は変更となる場合があります。

募集要項

1. 募集定員	25名
2. 応募資格	①高校卒業以上の学力があると認められる者で、就業経験のある女性。 ②基本的なマウス・キーボード操作がスムーズであり、Excelでの実習演習や基礎演習を問題なく扱えること。 ※学校教育法に定める学校に在学する方の選修はできません。
3. 講座開講期間	2024年10月12日（土）～2025年2月22日（土） (3月31日まではオンライン学習、キャリアカウンセリング等のフォローアップ期間)
4. 種性料	管理費10,000円（2024年度に限り）
5. 出願書類	①「京都女子大学 リカレント教育講座」履修申込書 ※様式は、ホームページからダウンロードの上、Wordもしくは自筆で作成してください。また、出願書類作成のほか、ホームページからのエントリーも必要です。 ②最終出身校の卒業証明書 ※出願書類に関する注意事項 - いっつん受理した出願書類はいかなる理由があっても返却いたします。 - 出願書類に虚偽の記載があった場合、選考及び種性の資格を失います。 - 書類不備の場合は、受付できません。
6. 出願期間	2024年7月1日（月）～8月26日（月）必着
7. 出願方法 ・出願先	封筒の裏に「リカレント教育講座履修申込書在中」と記し、出願書類①②を同封し、簡易封筒で送付してください。（持参不可） 出願先：〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35 京都女子大学 連携推進課 リカレント教育係宛
8. 選考方法	書類審査（履修申込書の内容）と面接による
9. 面接日	2024年9月6日（金）・7（土）・9日（月）の本学が指定した日時
10. 選考結果発表	2024年9月20日（金）※選考結果通知書を発送
11. 種修手続	履修予定期間に履修料を納入し、必要書類を提出してください。 【履修手続期間】 2024年9月23日（月）～9月27日（金）（消印有効） ※納入された履修料については、理由がせんを問はず返金いたしません。 ※必要書類については、選考結果通知時にご記載いたします。
12. その他	・履修を許可した方には、本学発行のリカレント教育講座履修証を交付いたします。本学キャンパスに入構する際には必ず携帯してください。 ・リカレント教育講座履修生は、本学学生と同様に図書館・食堂・購買・書店の利用が可能です。ただし、通学定期券の購入はできませんのでご注意ください。 ・授業科目によっては教科書や教材等、各自で購入が必要なことがあります。あらかじめご了承ください。（詳細は、授業担当者より授業の際にお知らせいたします。） ・このコースはオンラインとオンライン授業の併用であるため、自宅にインターネットの環境やパソコン等、動画を視聴できる環境が必要です。

科目一覧

提供機関	領域	科目名	授業形態
京都女子大学	その他	入校式・オリエンテーション	オンライン
	キャリアマッチメント	ライフ・キャリアデザイン（キャリアについて）	オンライン（オンライン）
	「人」のマネジメント	人的資源管理	オンライン（オンライン）
	「組織」のマネジメント	組織マネジメント	オンライン
日本女子大学	リーダーシップと ネットワーク	ロールモデルセミナー第1回：地域女性リーダー	ハイブリット
		ロールモデルセミナー第2回：企業女性リーダー	ハイブリット
		タイムマネジメント講座 (東京農工大学連携講座)	オンライン（Zoom）
福岡女子大学	組織的思考と リーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考I	オンライン（Zoom）
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考II	オンライン（Zoom）
福山女子大学	ファイナンス	ファイナンス入門	オンライン（Zoom）
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシー	オンライン
京都女子大学 宮城学院女子大学 女性教育協会	ジェンダー平等と 男女共同参画社会	ジェンダー・ダイバーシティ入門 第1回 京都女子大学 学長提供講座 テーマ：女性のためのリカレント教育講座の意義	オンライン (Zoom)
		ジェンダー・ダイバーシティ入門 第2回 宮城学院女子大学提供講座 テーマ：地域女性リーダーシップ	
		ジェンダー・ダイバーシティ入門 第3回 (Zoom) 西日本開催記念会 女性と政治センター テーマ：女性と政治参加	
		ジェンダー・ダイバーシティ入門 第4回 宮城学院女子大学提供講座 テーマ：地域女性リーダーシップ	
京都女子大学	シンポジウム	京都女子大学リカレントシンポジウム	対面・オンライン
合間	福島開学（講師）	NTT西日本（大阪）・就労支援講座（東京） 題目	対面
合間	その他	成果報告会実習 成果報告会・修了式	オンライン（Zoom） ハイブリット

※科目の概要については
ホームページをご覧ください。



The Research Center of
Community Partnerships

■お問合せ先：

京都女子大学 連携推進課・地域連携研究センター
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
<https://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/>
TEL：075-531-7080 Mail: renkei@kyoto-wu.ac.jp

